

## ウクライナ侵攻におもう

- 許すべからざる蛮行

突如他国へ侵入して、無差別に爆撃を行って民間人を殺傷し、原子力発電所に砲撃する、拳銃の果てに核戦力使用という脅迫をするなどという蛮行は決して許してはならない。国連加盟国が一致団結して、あらゆる手段でこの暴挙をとめる努力をしなければならない。

- 事に乗じて動くひと

安倍元首相はロシア侵攻をふまえ「核共有」政策を議論するべきと言い出した。日本が核を持てば、相手に「核を使おう」というより強い動機を与える。日本は被爆国として「非核3原則」をより強く押し進めるべきである。

このような危険な発想を持つ人には、早く国政の場から消えてほしい。

- どうすれば良いのか。

今回の事件はプーチンという独裁者が引き起こしたと言ってよい。彼は 1999 年に首相に就任して以来継続して大統領職と首相職に就き、近年は大統領権限を強化して独裁色を強めていた。長期独裁は腐敗と非理性的判断の温床となる。それは決して許してはならない。

我々はすでにナチズム、ファシズム、大政翼賛会などの独裁権力を産み出した経緯を具にみてきた。その根本原因は有権者にある事を、強く認識しなければならない。有権者一人一人が真剣に考え、行動しなければならない。

---

### 侵攻経緯

2月24日

ロシアのプーチン大統領は24日、ウクライナ東部ドンバス地方の住民を保護するため特別な軍事作戦を実施すると明らかにした。プーチン氏はウクライナ軍兵士に戦闘を中止するよう求めた。ロシアメディアなどが報じた。

ロシアは23日、ウクライナの親露派武装勢力「ドネツク人民共和国」と「ルガンスク人民共和国」(ともに自称)の各指導者から軍事支援の要請を受けていた。

2月24日

ウクライナ外務省は24日、同国内の複数の都市が攻撃を受けたと発表した。首都キエフがミサイル攻撃を受けているという。ロイター通信が伝えた。ウォールストリート・ジャーナル紙(電子版)などの米メディアは日本時間の同日午後、ロシア軍がウクライナ東部へ攻撃を開始したと報じた。

2月 27 日

ロシアのプーチン大統領は 27 日、ショイグ国防相、軍参謀総長と協議し、核戦力を含むロシア軍の戦力を**特別態勢**にするよう命令した。[北大西洋条約機構](#) (NATO) のロシアに対する攻撃的な姿勢に対抗するとしている。

2月 27 日

安倍氏はテレビ番組に出演した際、[北大西洋条約機構](#) (NATO) 加盟国の一部が採用している米国の核兵器を自国領土内に配備して共同運用する「核共有」政策について日本でも議論すべきだとの考えを示した。[ロシアのウクライナ侵攻](#)を踏まえ「世界の安全がどのように守られているのか。現実の議論をタブー視してはならない」と述べた。

2月 27 日

[山口二郎](#)法政大学教授は「安倍氏が核共有にふれ『世界の現実、議論タブー視ならぬ』」と27日にフジテレビで放送された番組において、「核共有」政策について日本でも議論すべきだとの考えを示したことを報じる記事を引用。その上で山口氏は「今回の[プーチン](#)の侵略と日本の核武装との間に何の関係があるのか。核兵器は安倍のような愚かな政治家に持たせるにはあまりに危険な玩具である」と投稿した。

2月 28 日

小沢氏は「安倍氏、『核共有』政策に言及 議論の必要性提起」と安倍氏が27日にフジテレビの番組に出演した際の発言を報じる記事を引用。その上で「この人物はどこまで国を壊せば気が済むのか」と投稿し、「ついに核武装の必要性にまで言及。憲法を壊し核を配備すれば平和になると信じるレベル。救いようがない。被爆国の元首相としての見識も問われる。この国は、際限なき軍拡で破滅寸前まで行った。愚かな政治を繰り返してはならない」と安倍氏の発言に疑問符を付けた。

3 月 3 日

安倍元首相は3日、自民党安倍派の会合で、ロシアによるウクライナ侵攻を巡り、共産党の志位委員長が「プーチン氏のようなリーダーが選ばれても、他国への侵略ができないようにするための条項が憲法9条」とツイッターに投稿したことに対し、「空想の世界だ」と批判した。

安倍氏は「問題は武力行使をいとわない国が隣国にある場合、どうなるかではないか」と指摘した。

(完)

